

シリアル -ICS 変換ユニット

KRI-3 取扱説明書

May.2009 Ver1.1

■注意事項

- 本製品を濡らしたりしないでください。
- 接続端子にゴミなどが付着すると正しく動作しない場合があります。
- 本製品には KRR-1 及び KRC ロボットコントローラーが必要です。

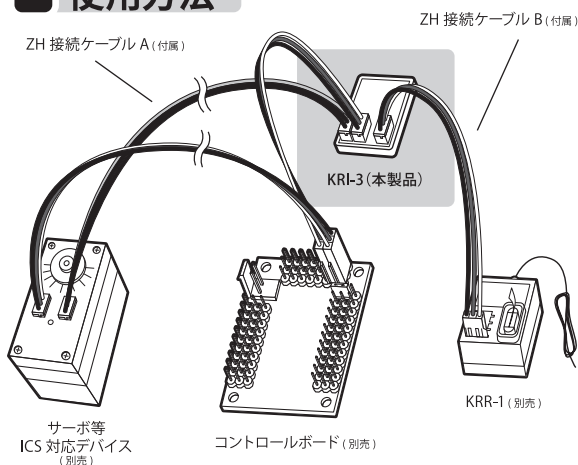
■仕様

外形寸法	20.3×26.9×8.8mm
重量	2.6g
定格電圧	KRR-1 ポート側 DC5V SIO ポート側 DC12V
通信形式	ICS3.0 対応。 KRR-1 ポート側 シリアル通信 SIO ポート側 ICS 通信
初期設定	ID=31 / 通信速度=115.2kbps
付属品	ZH 接続ケーブル A (ZH⇄ZH) 200mm ×1 ZH 接続ケーブル B (ZH⇄サーボコネクタ) 100mm ×1

■特長

- KRR-1 (No.01095) が受信する送信機側の信号の違い (低速シリアルモード、拡張シリアルモード) を自動判別し、どちらのデータも ICS3.0 準拠のデータに変換し送信します。
- ICS3.0 準拠の拡張デバイスなので、ID の変換はもちろん、通信速度を変えることが出来ます。対応通信速度は 115.2kbps、625kbps、1.25Mbps の 3 種類です。
- 設定を変更するには、USB1.1/2.0 ポートを持つコンピューター (WindowsXP/Vista) および下記の製品とソフトウェアが必要になります。
- ICS USB アダプター HS (No.02043) (別売)
- KRI-3 用 ICS マネージャー (ホームページよりダウンロード)

■使用方法



- 1 KRI-3 の SIO 端子に SIO 用接続ケーブルを接続し、ICS3.0 準拠のコントロールボードに取り付けます (注: RCB-4 の場合、SIO5 ~ 8 のいずれかに取り付けます)。この時点では電源を入れないで下さい。
- 2 KRR-1 と KRI-3 を KRR-1 用接続ケーブルで接続します。
- 3 KRC-3AD (又は KRC-1) の電源を入れます。
- 4 コントロールボードの電源を入れたら、KRI-3 が動作を開始します。

■注意

- ・送信機に電源が入っていない場合、KRI-3 はノイズを受信してしまい、誤動作の原因となります。
- ・電源が入っている状態では KRI-3 の端子を抜き差ししないで下さい。
- ・接続端子 (SIOx2、KRR-1) は電圧が違いますので、間違えて取り付けると故障の原因になります。

■アフターサービスのご案内

製品の故障または、不具合が発生した場合には下記の規定に基づいて対応いたします。

- 対応は当社サービス部にて承ります。お問い合わせ及び、修理品の送付先は下記住所の「サービス部」までお願いいたします。
- 修理品をお送りいただく場合の送料は、恐れいりますがお客様でご負担願います。無償修理の場合には、返送する際の送料は弊社で負担いたします。
- 有償修理の場合には、返送する際に郵便振替用紙を同封いたします。請求は、修理代金、消費税、送料の合計金額となります。